

経営比較分析表（令和3年度決算）

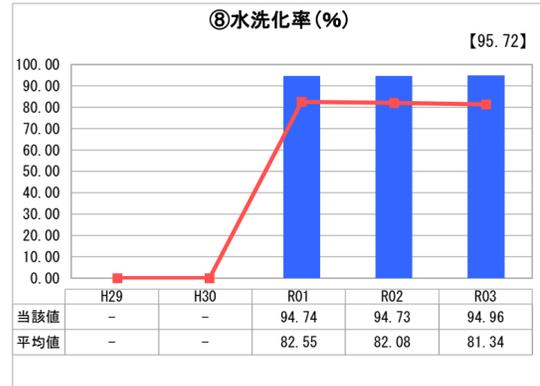
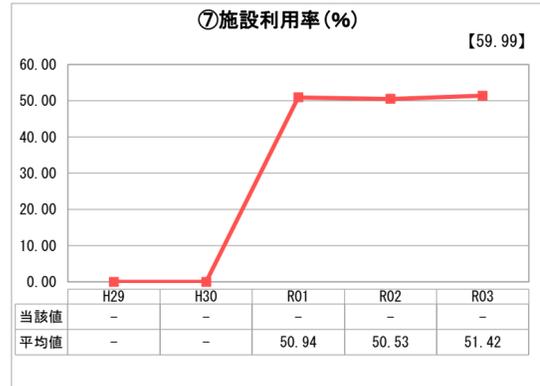
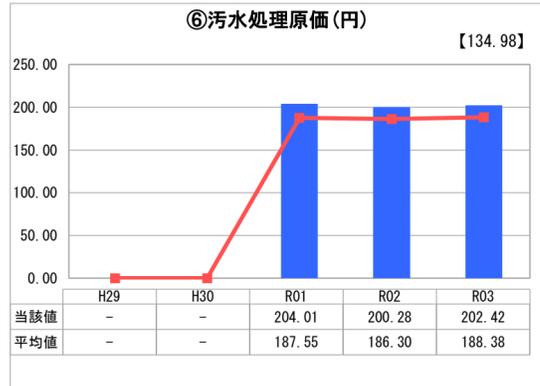
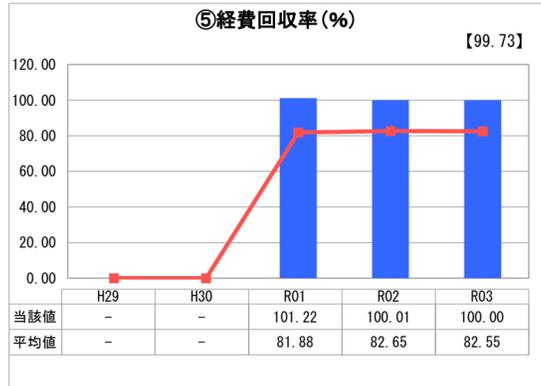
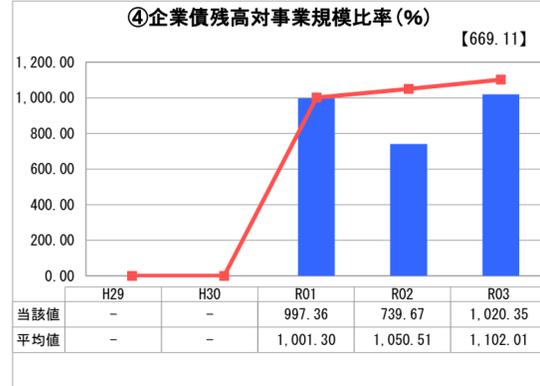
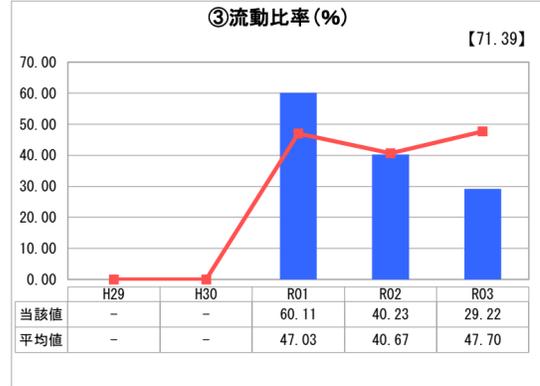
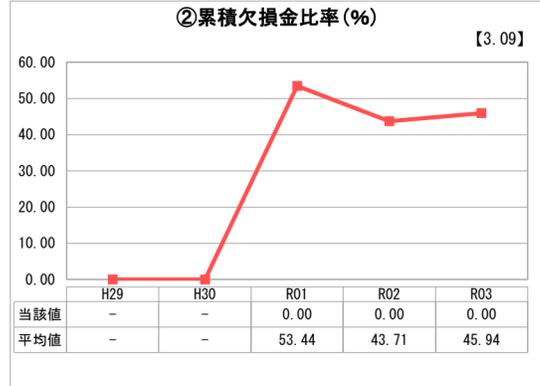
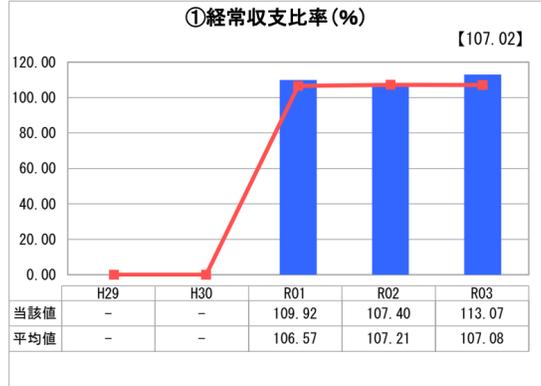
福岡県 久山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	61.45	96.15	94.04	3,080

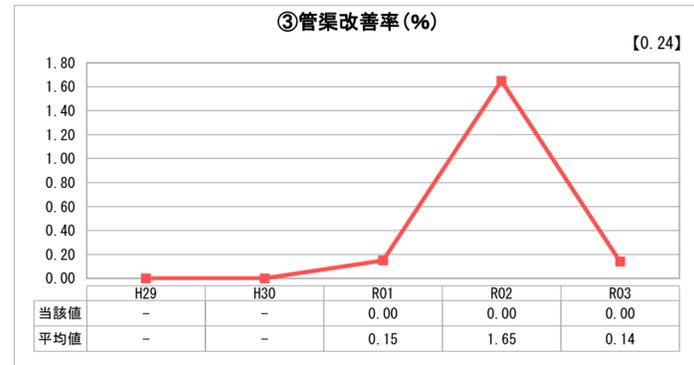
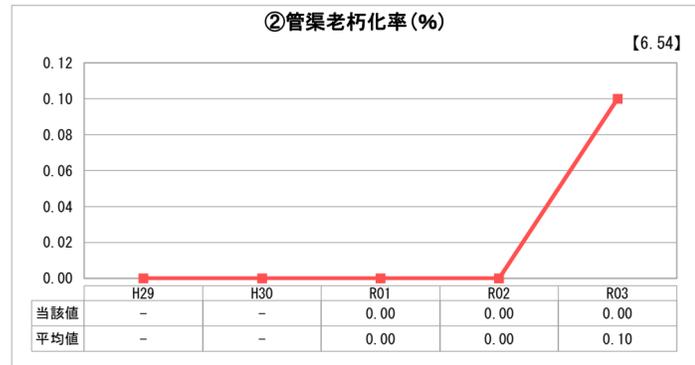
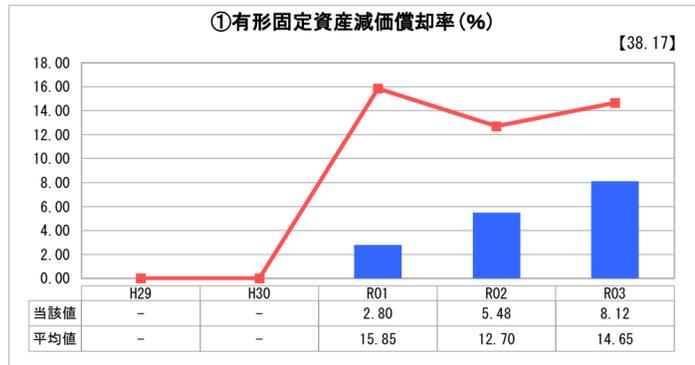
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,209	37.44	245.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,888	3.28	2,709.76

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

現在の下水道事業について、経常収支比率は113%と100%を上回っている状態である。しかし流動比率においては29%と100%を大きく下回っており、下落傾向が続いている状況である。流動比率とは1年以内に支払うべき債務に対して支払うことのできる現金等がある状態を示しているが、久山町下水道事業において現金を伴う収入に対し支出が大きく上回っており年々現金が少なくなっている。原因としては起債の償還が大きな割合を占めている。償還は令和5年をピークに減少していく見込みであるが、下水道管の延伸や更新といった工事は今後も必要になるため、経営改善策として、一般会計繰入金の基準額満額繰入など一般会計との財政調整を図っていかねばならない。

2. 老朽化の状況について

老朽化につきましては、久山町に下水道が整備され約35年が経過し、耐用年数も近くなってきているため、これからは下水道延伸と併せ古くなった下水道管の更新事業も進めていきたい。

全体総括

上記からもわかるように、現金が減少してきている。企業として現金の減少は健全な経営とは言えず、早期に対応することが求められる。現金を伴う投資の見直しや、使用料収入の増加のため、下水道未接続世帯への接続促進や一般会計との財政調整を図っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。